

めまい治療薬の展望

エーザイ株式会社
日本事業本部 医薬販路政策部長
中西 憲幸

1. めまいとは

ここではめまいを平衡失調の感覚であると定義する。

めまいは前庭性めまいと非前庭性めまいに大別することができ、前庭性めまいは末梢性めまいと中枢性めまいに分けられる。末梢性めまいは、内耳の機能的障害と器質的障害に分類できる。機能的障害とは他の原因による影響が内耳に及んで一過性の機能不全を生じるためのめまいで、その時点では平衡機能に異常が認められても、時期を過ぎれば正常になる。

2. 末梢性めまいの原因

日常臨床でのめまいの治療はあまりにも多岐にわたるので、ここでは器質的末梢性めまいについて取り上げる。

1) 良性発作性頭位めまい (BPPV)

末梢性めまいの原因疾患では最も頻度が高く、末梢性めまいの大半を占めるとの統計もある。頭位の変換（起床時や寝返り時など）に伴い、一過性の回転性めまいがおこる疾患である。日常生活に支障をきたす場合は頭部を特定の方向に動かす手技（耳石の位置を変える）や薬物療法を行う。内耳性のめまいで、本来耳石膜にくっついて耳石器の中にあるはずの耳石の一部が剥がれ落ち、三半規管の中に入るために生じるとの説がある。

2) メニエール病

有名な疾患であり、やや短絡的にこの病名がつけられていることが少なくない。蝸牛症状（耳鳴り、難聴、耳閉感など）を伴う反復性のめまい発作が特徴である。内リンパ水腫が特徴的な病態である。初期には低音障害型の感音難聴を呈し、早期に適正な生活指導、薬物治療しなければ、予後は悪い。多くは薬物療法等の保存療法でコントロール可能であるが、特に近年生活指導の導入が重視されている。

3) 前庭神経炎

急性に発症する末梢性めまいで、蝸牛症状を伴わない。めまいは24時間以上数日ないし数週間にわたって持続し、次第におさまる。循環障害かウイルス感染が原因として有力である。一般に吐き気や嘔吐は強く、経口摂取の困難なことがあり、十分な水分補給や薬物療法が重要である。

3. 末梢性めまい治療薬の薬理作用

末梢性めまいに汎用されている治療薬の薬理作用を添付文書によって大別すると、内リンパ水腫の改善作用、内耳の血流促進作用、抗めまい作用、抗不安作用、制吐作用などである。

1) 内リンパ水腫の改善作用

イソソルビド（イソパイド）、グリセリン（グリセオール）、アセタゾラミド（ダイアモックス）

2) 内耳の血流改善作用

アデノシン3リン酸2ナトリウム (ATP) (アデホスコーワ顆粒、トリノシン顆粒)、イフェンブ
ロジル酒石酸塩 (セロクラール)、イブジラスト (ケタス)、カリジノゲナーゼ (カルナクリン)、
アルプロスタジリプロスタグランジン E1 (パルクス、リプル)

3) 抗めまい作用

ベタヒスチンメシル酸 (メリスロン)、ジフェニドール塩酸塩 (セファドール)、dl-イソプレナ
リン塩酸塩 (イソメニール)、ジフェンヒドラミンサリチル酸塩、ジプロフィリン (トラベルミン)、
ジメンヒドリナート (ドラマミン)

4) 抗不安作用

トフィソパム (グランダキシム)、ジアゼパム (セルシン、ホリゾン)、ヒドロキシジンパモ酸
塩 (アタラックス P)、フルボキサミンマレイン酸塩 (デプロメール、ルボックス) パロキシチ
ン塩酸塩 (パキシル)

5) その他

メトクロプラミド (プリンペラン) : 制吐作用、炭酸水素ナトリウム (メイロン)、プレドニ
ロン (プレドニン) : 抗炎症作用、メコバラミン (メチコバル) : 末梢神経の修復作用、7%炭酸
水素ナトリウム (メイロン)

4. めまいに対する治療効果

ここでは弊社のメコバラミン (メチコバル)、ベタヒスチンメシル酸 (メリスロン)、ジフェ
ンヒドラミンサリチル酸塩とジプロフィリンの合剤 (トラベルミン) を取り上げる。

メコバラミン (メチコバル) は末梢性眩暈に対し、4~6週間投与し、各種めまいの改善は
2段階以上が 38.5~40%、1段階を含めると 84.6~85%で、他覚所見の裏付けも得ている。メコ
バラミンは向神経ビタミンとし知られ、神経細胞や末梢神経の障害修復機構に働く。

ベタヒスチン (メリスロン) は各種眩暈症に対し、交配法による二重盲検試験を実施した。ベ
タヒスチンとプラセボを2週ごとに交互に投与し、自覚症状および他覚所見の変動を観察し、逐
次検定によって、ベタヒスチンの有効性を確認した。薬理作用としてはモルモットの内耳循環障
害の改善、内リンパ水腫モルモットの蝸牛管血流量改善、アカゲザルの脳内血流量の改善が認め
られている。

トラベルミンの成分のジフェンヒドラミンサリチル酸塩は自律神経に働き、乗りもの酔い症状
を予防・緩和し、ジプロフィリンは揺れによって起こる感覚の混乱を抑制し、乗り物酔いを予防す
る。なお、トラベルミンは医療用と OTC 薬 (トラベルミンチュロップ・ファミリー・R・内服液)
では含有成分が異なっているので、注意を要する。

略 歴

中西憲幸 (なかにし のりゆき)

- 1950年：大阪に生まれる
- 1973年：富山大学薬学部を卒業
- 1973年：エーザイ株式会社に入社、大阪支店で営業を担当
- 1978年：本社、企画部でメチコバルのプロダクトマネージャー
- 1993年：新事業推進部EMP室（高齢者向け薬剤開発）室長
- 1995年：EMP推進部 部長
- 1996年：エルメッド エーザイ株式会社 社長、（エーザイより出向）
- 2003年：エーザイ株式会社・医薬部 部長
- 2008月：保険調剤営業部 部長
- 2009年：医薬販路政策部 部長

